

本庄早稲田・リサーチパークニュース 2010.11

「本庄早稲田の杜まちびらき」記念式典の開催



記念式典の様子



本庄市マスコット「はにぼん」

去る10月24日、上越新幹線本庄早稲田駅北口において「本庄早稲田の杜まちびらき」記念式典が行われました。

この式典は、平成25年度をめぐりに独立行政法人都市再生機構が整備を進めている本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業において、現在、本庄早稲田駅北側地区の整備が進み、今後の整備を進める上で新しい街を全国に発信する機会として企画されたものです。

当日の記念式典は吉田本庄市長のご挨拶に始まり、池口国土交通副大臣、上田埼玉県知事、白井早稲田大学総長など関係機関の方々から祝辞があり、鯨井本庄早稲田駅周辺地区まちづくり協議会会長が高らかにまちびらきを宣言しました。

記念式典終了後、午後より本庄市の7つの高校による「セブンハイスクールサミット2010 in 本庄早稲田の杜」が開催されました。サミットでは途中に吉本新喜劇のお笑い芸人の「お笑い芸人ライブスタンド」をはさみ、「本庄早稲田の杜まちびらき」をテーマに吉田本庄市長を囲み、7つの高校の代表者とのパネルディスカッションが行われ、高校生と市長との盛んな意見交

換が行われました。

また、記念式典の会場周辺では「本庄早稲田の杜まちびらきフェスタ」と銘打って、地元の特産品や食品販売の特設ブースや本庄早稲田の杜のバーチャルCGの体験ができるまちづくり館が設けられ、多くの市民の方々が来場されていました。

本庄早稲田の杜まちづくりは、本庄地方拠点都市地域の中核を担う、「本庄早稲田駅周辺土地区画整理地区」と早稲田大学本庄キャンパス「早稲田リサーチパーク地区」を今後の本庄市の新しいまちとして整備するキャッチフレーズとして本庄市が提唱しています。新しい街は「豊かな自然環境を残す早稲田大学本庄キャンパスや周辺の美しい田園風景の環境と調和した」まちづくり、そして「だれでも安心安全に暮らせるユニバーサルデザイン」のまちづくりを目指しています。平成25年に向かって本庄早稲田駅北側では早くも住宅地の販売が開始され、駅の南側では平成24年秋の完成を目指し株式会社カインズの新本社が建設されつつあります。今後の整備の進捗が楽しみです。

本庄早稲田の杜フェアを開催

第3回食の安全シンポジウム・第2回ものづくりフェア

10月23日(土)に「本庄早稲田の杜」まちびらきの記念行事の一環として、昨年度に引き続き第3回目となる「食の安全シンポジウム」、第2回目となる「ものづくりフェア」を同時に開催しました。本庄地域周辺の食品加工メーカー、ものづくり企業、次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会会員企業等全44団体に参加いただき、それぞれの企業の技術、製品の紹介・展示、地元食品加工企業による特産物の試食・販売会が行われました。

午前の基調講演では、農林水産省大臣官房食料安全保障課統括課長補佐の西経子氏から「日本の食・農・地域の未来を創るのはあなたです」と題し、地域における食の取組や地産地消の進め方について、午後の基調講演では、「ものづくり」をテーマに、早稲田大学商学大学院教授鵜飼信一氏から、ものづくりの技術を活かしたこれからの中小企業について、日産自動車(株)生産事業本部NPW推進部大橋正憲氏から、日産生産方式による改善活動について、ご講演をいただきました。



吉田信解本庄市長もご来場

なお、今回のフェアでは、地元食品加工業者が連携し、平成22年度埼玉県夢チャレンジ事業の助成を受け、地元で加工されたこだわりの食材を使用して開発した「本庄がんもバーガー」が初めて販売され、来場された大勢の皆様に召し上がっていただき好評でした。また、児玉工業団地工業会開設の25周年記念事業として、児玉工業団地の多数の企業の出展がなされ、企業紹介や製品のPRが行われました。

今フェアは来場者が800人を超え、大学と企業と地域の皆様、本庄地域の産業を知り、理解を深め、これからの本庄周辺地域の将来に期待を持つ大変よい機会となりました。



展示会場風景



西経子氏のご講演



試食販売会場風景



鵜飼信一氏のご講演



大橋正憲氏のご講演



大盛況の本庄がんもバーガー



次世代モビリティ・エリアマネジメント研究会

～次々と分科会を開催～

5/28 第3回分科会

5月28日(金)第3回分科会を開催。環境対応ディーゼルエンジンのPRを目的に、会員の野口精機株式会社およびボッシュ株式会社のご協力でクリーンディーゼル乗用車を4台用意していただき、試乗会を実施しました。参加者のみなさんは、最新のディーゼルの加速の素晴らしさを十分に堪能していました。また、早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科草鹿仁教授とボッシュ株式会社山口部長の講演で、クリーンディーゼルの最新技術動向を学ぶことができました。

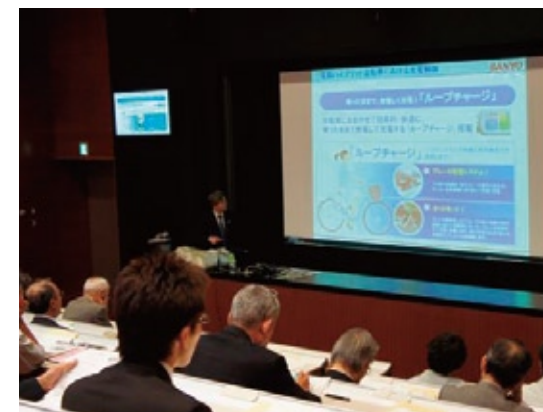


10/1 第4回分科会

10月1日(金)第4回分科会を開催。先進的産学官連携の具体例として、群馬大学客員教授、群馬大学次世代EV研究会幹事の松村先生にEV研究会の活動を紹介していただきました。マイクロEV Mag-E1、汎用足回りユニットなど具体的な開発と連携研究活動の講義や今後の実証試験の紹介は、大変興味深い講演となりました。同時にDOWAハイテック株式会社様、東京千曲産業株式会社様、以上2社の企業紹介を実施しました。

10/19 次世代自動車フォーラム

10月19日(火)「本庄早稲田の杜まちびらき」記念行事の一環として「次世代自動車フォーラム」を開催。「車内アメニティー環境分科会」の活動、「次世代空調コンソーシアム」のテーマのキーテクノロジーである「電池」について二つの講演を実施しました。



早稲田大学環境総合研究センター 中垣隆雄准教授には燃料電池の仕組と概要・課題について、三洋電機(株)研究開発本部の岸本部長には「電動アシスト自転車における電力回生技術」という題名で回生技術から各種電池の特性、リチウムイオン電池についてご講演をいただき、両講演ともに大変貴重なお話を伺うことができました。

『本庄スマートエネルギータウン』フォーラム

10/18 経済産業省 飯田室長の基調講演

10月18日（月）に早稲田リサーチパークにおいて『本庄スマートエネルギータウン』フォーラムを開催しました。この記念すべきフォーラムは、本庄市で整備が進む5,000人規模のニュータウンを中心に、早稲田大学、民間企業、行政機関などと連携して、本地域の特徴である豊かな自然環境と、これに大学の「知」を最大限活用し、民間企業の技術や知恵を活かした地方都市版スマートシティモデルを実現するための第一歩となりました。

当日の来場数は120名を超え、熱気と期待につつまれる中、早稲田大学環境総合研究センター 永田勝也教授が開会を宣言しました。来賓として経済産業省関東経済産業局 吉澤雅隆部長、本庄市 吉田信解市長が祝辞を述べ、当財団の嶋根繁専務理事が趣旨説明を行いました。続いて、経済産業省 資源エネルギー庁 新産業・社会システム推進室 飯田健太室長が「スマートコミュニティについて」の基調講演を行いました。



経済産業省 資源エネルギー庁
新産業・社会システム推進室
飯田健太室長の基調講演



パネルディスカッション



パネルディスカッションの風景と熱心に聴き入る参加者

パネルディスカッションでは早稲田大学環境総合研究センター 小野田弘士准教授、横山隆一教授、勝田正文教授、国際情報通信研究センター 坂井滋和教授、理工学術院 高口洋人准教授、それに（株）博報堂 深谷信介氏が、それぞれ新しい技術による社会的課題の解決策、産学官連携の在り方を精力的に説明し、本地域での新しい技術の実証・実用化を確認しました。

フォーラム終了後に1階レストラン馬車道で行われた懇親会にはフォーラムの余韻が残る中、地域の方々をはじめとする多数の方々に参加し、これからの夢をお互いに語り合い、交流を深めました。

本庄早稲田の杜フェア「国際交流と音楽の夕べ」を開催



10月23日（土）レストラン馬車道本庄早稲田店において本庄早稲田の杜フェア「国際交流と音楽の夕べ」を開催しました。このイベントは、24日（日）に行われる本庄早稲田の杜まちびらきフェスタの前夜祭として、本庄市国際交流協会と当財団が共催し、実施したもので、一般参加者は180名余で、出演者を合わせると総勢230名以上が集まりました。当日の出演者は、6チームで、参加者たちは、二胡、楊琴、アルパ、混声合唱、カンボジアン・ダンス、テノールのすばらしいパフォーマンスに酔いしれ、秋の夜の心豊かなひとときを過ごしました。出演者のほとんどは、本庄市および周辺地域に住む一般市民と早稲田大学留学生です。多才な人、文化・芸術を楽しむ人が数多く集まる街・本庄、そして国際色豊かな本庄の未来に明るいものを感じる催しとなりました。当財団では、これからも地域色豊かなイベントをととして国際交流を推進してまいります。

「セブンハイスクールサミット2010in本庄早稲田の杜」を開催



10月24日（日）本庄早稲田の杜まちびらき記念式典の事業の一環として、本庄地方拠点都市地域整備推進協議会が主催し、当財団の後援および開催協力のもと「セブンハイスクールサミット2010 in 本庄早稲田の杜」が開催されました。本年度3回目を迎える今回のサミットでは、テーマを『「本庄早稲田の杜」のまちづくり～持続可能なまちの実現のために～』として、市内7つの高校の代表によるプレゼンテーションと早稲田

大学本庄高等学院の羽田教諭をコーディネーターに迎え、吉田本庄市長とのパネルディスカッションを行いました。今回のサミットは、まちびらきイベントを兼ねていることから、プログラムの中では、お笑いあり、お楽しみ抽選会ありで、高校生の他多くの市民が参加し、たいへんにぎやかなイベントとなりました。当日のサミットの内容は、「セブンハイスクールサミット2010 in 本庄早稲田の杜」宣言として発表されました。

経営者・中堅社員研修を開催

当財団では、昨年度から引き続き、企業の人材を育成するための事業として「企業人材育成事業」を実施しています。

■本庄早稲田塾：経営者研修

経営者向けの研修である「本庄早稲田塾」では、今年7月に会員募集を行い、7月から毎月、早稲田大学教員を中心とする講師から、中小企業のものづくり技術、現場改善のポイント、ものづくり企業に必要な新規事業のノウハウなど多岐にわたる実践的なテーマで講義いただいています。地域の様々な分野の企業の皆様の参加があり、講義後の交流会でも、講師を交え白熱した意見交換が行われています。

■ミドルマネージャー研修：中堅社員研修

一方、中堅社員向けの研修として「ミドルマネージャー研修」を開催しています。6月23日(水)には、今年度第1回目の開催となる「幹部候補育成研修」を開催し、中堅社員として果たすべき役割、リーダーシップ、後輩育成指導等について学びました。9月7日(火)には第2回目となる「企業会計入門研修」を開催し、企業会計の目的、役割から会社の決算まで幅広く学びました。今後も様々なテーマで開催が予定されておりますので、是非、次代を担う社員の皆様はご参加ください。



「第1回E-KIZUNAサミット・フォーラムinさいたま」、 「EVEX電気自動車開発技術展2010」へ出展

■第1回E-KIZUNAサミット・フォーラムinさいたま



E-KIZUNA サミット

■EVEX 電気自動車開発技術展 2010



EVEX での財団ブース



電動バス、一人乗り小型電気自動車の展示



EVEX 電気自動車開発技術展開会式

昨年度埼玉県から受託した「次世代型自動車技術開発支援事業」の研究成果を、4月26日(月)にさいたま市で開催されました「第1回E-KIZUNAサミット・フォーラムinさいたま」、7月14日(水)～7月16日(金)に横浜市で開催された「EVEX電気自動車開発技術展」に出展しました。この事業は、次世代型自動車産業に進出する県内中小企業を支援するため、次世代型自動車の製造や開発に必要とされる課題について、県内中小企業の参加による産学官の共同研究を実施したものです。一人乗り小型電気自動車、自然エネルギーを活用した充電ステーション、軽量化バンパー・ペダル・電池ケースなど幅広く研究開発された成果を出展しました。

両イベントにも多くの来場者があり、次世代型自動車に必要とされる製品や県内中小企業の技術力の高さを知ることができ、今後の県内自動車産業界を活性化させる大変意義のある展示内容でした。

「地域水環境再生勉強会」元小山川・小山川 魚類・水質調査

～地域住民の協力により藤田小学校河川調査を開催～

本庄市立藤田小学校では、2007年度から、総合学習の時間に、元小山川、小山川での河川調査を続けています。今年度第2回目の調査が11月11日の午前中に行われました。参加した児童は、5年生25名、6年生22名で、4班に分かれ、胴長とタモ網を持ち、川に入りました。調査内容は、魚類の捕獲の他、水深、川幅、透明度、COD(河川の汚れ具合)などの計測です。昨年度、川に入った経験のある6年生が5年生を教えながら調査をします。

今回の調査は、小学校の先生の他、埼玉県環境科学国際センター、埼玉県本庄県土整備事務所、早稲田大学榊原研究室、NPO法人川・まち・人プロデューサーズ、本庄市、PTA、当財団の職員と地域の多くの専門家、関係者(30名以上)が参加、協力しました。児童たちは、慣れた手つきで、タモ網を使い魚やザリガニなどをたくさん捕まえ、歓声をあげていました。

これからの活動ですが、3学期に向けて、水質や魚類から2つの川の違いや季節ごとの違いをまとめたり、実際、川に入って感じたことをまとめ、発表する授業を行っていきます。



GITS大学院生が「男性応援塾・多国籍料理イン上里」に参加

10月14日(木)「男性応援塾・多国籍料理教室イン上里」が上里保健センターで開催されました。参加者は、平成22年度上里町男女共同参画推進センターが主催する男性の家庭参画セミナー参加者12名で、早稲田大学大学院の留学生3名が今回の料理教室の講師として招かれ、男性でも気軽に家庭で作れる中国料理レシピ2品(鶏肉とピーナッツのピリ辛炒め、トマト入り卵スープ)を紹介しました。

留学生は、各班に分かれ、料理の作り方を得意な日本語で教えながら一緒に調理しました。今回のレシピは家庭で簡単に再現できると参加者たちには大変好評でした。

試食タイムには、意見交換の場も設けられ、中国の一般家庭における男性と女性の家事分担の習慣の違いなどについて話し合いを行いました。参加者は、留学生の話に興味深く耳を傾け、おいしくできた中国料理に舌鼓を打ちました。



「早稲田サイエンスアカデミー」を開催

～エコライフゲームで環境・エコについて学ぶ～

8月29日(日)に上里町にあるユニクス上里の2階コミュニティスペースにおいて「早稲田サイエンスアカデミー」が開催されました。この催しは、地域の小学生に早稲田大学を身近に知ってもらうとともにボードゲームを通じて環境配慮行動(例：クーラーの温度を2℃下げCO₂削減に貢献するなど)を学ぶきっかけ作りの場を提供するというものです。

主催は、ユニクス上里で、早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科、NPO早稲田環境教育研究機構と当財団が開催協力をし、当日は、小学生32名が参加しました。ゲームの内容ですが、最初に5～6名で班を作り、ゲームを開始します。参加者は、さいころの出た目でボード上の駒を進め、お金やエコポイントを獲得します。マス目ごとに環境配慮についてとるべき行動が1コマ1コマ書かれており、楽しみながら環境やエコについて学べ、子どもだけでなく付添いの保護者も夢中になっていました。



最新型電動バス WEB-3 が本庄を疾走！

早稲田大学と昭和飛行機工業（株）等が開発した最新型電動バス WEB-3（ウェブスリー）の実証試験が、10月9日から23日まで本庄市で行われました。早稲田リサーチパークを起点に、市民文化会館、四季の里を通り本庄駅南口までを主なルートとし、一部の便は市役所まで走行しました。実証試験は15日間実施され、のべ600人の利用がありましたが、大きなトラブルもなく無事に終了いたしました。

当財団で電動バスの乗客に実施したアンケートによると、回答者の約5割が日常に置いてほぼ毎日マイカーを利用している一方、電動バスが普及した場合は約7割がバスを利用する（「利用する」「少しは利用する」と回答しており、環境にやさしい電動バスが普及することによりマイカーの利用を減らせる可能性が示唆されました。また、本庄地域での運行や早期の普及を望む声も聞かれ、大変意義のある実証試験となりました。

電動バスの実証試験は11月8日から12月6日まで熊谷市内でも実施されており、今後も日本全国で実施される予定となっております。皆様も機会がございましたら是非ご乗車いただき、電動バスを実感してみてください。



◎電動バス（WEB-3）

早稲田大学と昭和飛行機工業（株）等が「環境省平成21年度地域産学官連携環境先端技術普及モデル策定事業」において開発した電気のみをエネルギー源とするバス。短航続距離・高頻度充電をコンセプトに開発され、簡単に充電できる非接触充電装置を搭載している。航続距離は約65km、フル充電は1時間30分から2時間程度。WEBはWaseda advanced Electric micro Busの略称。

早稲田大学電動バス（実証試験運行スタート）
WEB-3が本庄を走ります

10/9～10/23

無料

運行ルート（時刻表は裏面にございます）

運行時間：午前8時30分から午後5時30分まで
1時間に1往復程度

WEB-3はこんな電動バスです

名 称 早稲田大学先進電動マイクロバス
Model advanced Electric Micro Bus 3 (WEB-3)
車 体 長さ 25m
メーカ リー・リサーチ・システムズ
電 池 方式 非接触充電装置搭載型

お問い合わせ先
(財)本庄国際リサーチパーク研究推進機構
〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL.0495-24-7455
FAX: 0495-24-7465 / URL: http://www.howarp.or.jp/

● 研修募集

“5S”入門研修を開催（ミドルマネージャー研修） ～「利益を生み出す」5Sの実践法を学ぶ～

日 時：12月16日（木）、17日（金）【2日間】9時30分～16時45分

場 所：早稲田リサーチパークコミュニケーションセンター3階レクチャールーム1

受講料：6,000円（テキスト代を含む）

今回の研修では、現場の改善を進める上で必要とされる5S手法（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の考え方や取り組み方、目で見える管理の進め方について学びます。「自社のムダ」を取り除き「利益を生み出す」ためにも現場の改善方法を習得しましょう。詳細は財団HP、若しくは研修担当までお問い合わせ下さい。

■ 募集 ■ 「冬休み親子スーパーサイエンス教室」

主催者：早稲田大学本庄高等学院

開催日：12月23日（木） 午前の部10:00～12:00
午後の部13:30～15:30

開催場所：早稲田大学本庄高等学院 参加費：無料
*10分前には集合してください*午前と午後は同じプログラムです*親子で参加してください

講座1：アフリカのがっき「カリンバ」をつくろう！（鉄の棒を指ではじく、かわった楽器を作って演奏しよう。）… 定員：小1～小6 親子20組

講座2：「立体だこ」をつくろう！（かわった形のたこを作って空高くあげてみよう。）…………… 定員：小1～小6 親子20組

申込は往復ハガキで12月15日（水）必着。参加者、保護者氏名、学年、住所、電話番号をお知らせ下さい。後日、全員に連絡します。
問合せ先：（財）本庄国際リサーチパーク研究機構 URL <http://www.howarp.or.jp> 電話 24-7455 FAX.24-7465



財団法人 本庄国際リサーチパーク研究推進機構

〒367-0035 埼玉県本庄市西富田1011
TEL: 0495-24-7455 FAX: 0495-24-7465
<http://www.howarp.or.jp/>